

北九州市国家戦略特区 区域会議資料



国定公園 平尾台

平成29年7月
特区民泊スタート

平成29年9月4日




エリアマネジメントの民間開放

北九州市エリアマネジメント事業の目的

国家戦略特別区域法上の国家戦略道路占用事業を実施する北九州市内の地域団体が、道路空間を活用したイベント等を開催し、**MICEの魅力向上及び、まちの賑わい創出を図ることで国内外の人の交流やインバウンドの増加を図る。**

これまでの実績

- 実施エリア：都心、地域拠点等のエリア
(小倉2箇所、門司港2箇所、八幡東1箇所)
- 開催日数：**365日中 219日**
(5箇所のどこかで事業を開催した日数)
- 来場者数：**約170万人**
- 事業主体：目的に資する活動を実施する地域団体等


 今回の実施箇所：八幡西（黒崎副都心）


黒崎副都心の追加により、地域団体によるエリアマネジメントがさらに加速！

追加案件の概要

黒崎地区の概要

- 黒崎副都心（JR黒崎駅は九州で6位の乗車人員）に位置する商業地域
- 駅北側には安川電機などの世界的な企業、南側には文化交流・国際交流の拠点が立地

➡ **新たなにぎわいが生まれるポテンシャルを秘めたエリア**

今回追加案件（2件）

①カムズ イノベートプロジェクト（カムズ通り）

〈実施団体（民間構成員）〉

ツグタウン
tugu.town黒崎実行委員会

〈実施内容〉

- ・商店街アーケードでオープンカフェやマルシェを開催し、交流や憩いの場を創出
- ・新たなにぎわいと活気のある通りを目指す



②story of pedestrians（ストーリー オブ ペDESTリアンズ）（黒崎駅ペDESTリアンデッキ）

〈実施団体（民間構成員）〉

黒崎コミュニティ

〈実施内容〉

- ・交通の結節点である黒崎駅のペDESTリアンデッキ上でオープンカフェやマルシェを開催
- ・これまで通行するだけであった人を留め、商店街や周辺施設への新たな人の流れをつくる



各事業の相乗効果により、黒崎地区に新たな人の流れをつくる

2

北九州市国家戦略特区 区域会議資料

小倉北区 紫川



小倉駅



空港アクセスバス



ていたん & ブラックていたん



平成29年12月13日

24時間空港と小倉都心間のアクセスバスの運行

【運賃及び運行計画に関する道路運送法施行規則の特例】

国内線・国際線の**利用客増加**
利用者の**利便性向上**のため

臨時バスの運行を柔軟に設定！

北九州空港位置図



活用事業者：西鉄バス北九州(株)



九州唯一の
24時間空港

特例活用効果

空港アクセスの更なる充実が図られ、
24時間空港の強みを最大限活用可能

**インバウンド拠点形成
を目指す！**

特定実験試験局制度に関する特例

公共インフラの点検を効率化 近未来技術実証から
飛行モニタリング技術の確立 新たなビジネスの創出へ！

株式会社 国際海洋開発

無人機で撮影した高画質映像の伝送技術実証

- ・無人水上艇、ドローンに設置した高画質映像を遅滞なく伝送する技術実証。
- ・港湾護岸等のインフラ点検や災害時の状況調査等に活用。



一般社団法人 無人機研究開発機構

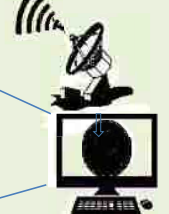
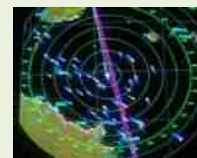
レーダーによるドローン等の監視技術実証

- ・マイクロ波レーダーを利用し、無許可ドローン等の航空利用状況を監視する技術実証。
- ・将来的なドローン等による空中利用拡大を見据え、空中監視や危機管理等への活用を期待。

無許可ドローン



レーダー波



ものづくりの街のポテンシャルを活かし、新たな社会の課題を解決！

2

大規模国際大会誘致等に向けた 留学生の資格外活動許可に係る規制緩和

2016.6.23 タイ王国とのスポーツ交流
「スポーツ連携及び交流に関する覚書」締結



課題

通訳・おもてなし体制強化
⇒対応可能な人材の確保が必要
留学生等の積極的活用を！

規制改革提案

・市が雇用の実施主体となり、スポーツ等の協定を締結している国の留学生（プロの通訳が少ない言語）に限り、学校の了解を得ることを前提に就労時間を週40時間まで緩和（留学生1人あたり、年間最大2週間程度の活用）

効果

- ・外国の選手団に対して、おもてなしの充実を図るとともに、通訳経験を有する外国人の増加によりTokyo2020などキャンプ地やその他大規模国際大会等の誘致につなげる。
- ・留学生の研修効果にもつながり、さらなる文化交流を促進していく。

3

大規模国際大会

キャンプ地誘致等

- ・2019年ラグビーワールドカップ
- ・2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会
- ・HSBCワールドラグビー女子セブンズシリーズ
- ・ワールドパラパワーリフティングアジア・オセアニアオープン選手権大会



現状

就労など、本来の在留資格（留学）以外の活動をするに
ついては、週28時間以内に制限
（長期休暇中の留学生は1日8時間）